

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成 24 年 5 月 17 日 (2012.5.17)

【公開番号】特開 2010-87425 (P2010-87425A)
【公開日】平成 22 年 4 月 15 日 (2010.4.15)
【年通号数】公開・登録公報 2010-015
【出願番号】特願 2008-257722 (P2008-257722)
【国際特許分類】

H 0 1 L 21/02 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 10 月 7 日 (2011.10.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加圧により他の基板に一方の面が接合される基板の他方の面に接する接触面を有する接触部と、

前記接触部の周囲に沿って配され、前記接触部を介して前記基板が加圧されたときに前記基板の周縁部に生じる応力集中を緩和する応力緩和部と、
を有する基板保持部材。

【請求項 2】

前記接触部の周囲に配置されたフランジ部を備え、
前記応力緩和部は、前記接触部と前記フランジ部との間に配置され、前記フランジ部から前記接触部への応力の伝播を遮断する請求項 1 に記載の基板保持部材。

【請求項 3】

前記応力緩和部の厚さは、前記接触部の厚さよりも小さい請求項 1 または 2 に記載の基板保持部材。

【請求項 4】

前記接触面は、保持する前記基板と等しい外形を有する請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の基板保持部材。

【請求項 5】

前記応力緩和部は、前記接触部の外周に沿って形成された溝を含む請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の基板保持部材。

【請求項 6】

前記フランジ部の厚さは、前記接触部よりも薄く、前記応力緩和部は、前記フランジ部と前記接触部との間に形成された段差を含む請求項 2 に記載の基板保持部材。

【請求項 7】

前記接触部の周囲に配置されたフランジ部を備え、
前記応力緩和部は、前記フランジの側面に前記接触部に向けて形成された溝を有する請求項 1 に記載の基板保持部材。

【請求項 8】

前記接触部の周囲に配置されたフランジ部を備え、
前記応力緩和部は、前記接触面に連続して前記フランジ部に形成され、前記フランジ部

の外周に向けて前記フランジ部の厚さが薄くなるように形成された傾斜面を有する請求項 1 に記載の基板保持部材。

【請求項 9】

加圧により他の基板に一方の面が接合される基板の他方の面に接する接触面の外形と同じ外形を有する基板保持部材。

【請求項 10】

請求項 1 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載された前記基板保持部材と、
複数の基板を積層して挟んだ一対の前記基板保持部材に、前記基板保持部材の厚さ方向に応力を加える加圧部と
を備え、前記複数の基板を接合する接合装置。

【請求項 11】

前記加圧部は、前記基板保持部材の前記接触面に対する裏面と等しいかより大きい外形を有して前記裏面に接触する接触面を有する請求項 10 に記載の接合装置。

【請求項 12】

前記加圧部は、前記基板の他方の面と等しい外形を有し、前記基板保持部材の前記接触面に対する裏面に接触する加圧面を有する請求項 10 に記載の接合装置。

【請求項 13】

一方の面が接合される一対の基板の一方の基板の他方の面に接する加圧面を有し、前記一対の基板を加圧する加圧部と、
前記加圧面の周囲に沿って配され、前記一方の基板が前記加圧部により加圧されたときに、前記一方の基板の周縁部に生じる応力集中を緩和する応力緩和部とを備える接合装置

。

【請求項 14】

前記応力緩和部は、前記加圧面の外周に沿って前記加圧部に形成された溝を含む請求項 13 に記載の接合装置。

【請求項 15】

前記加圧面は、前記一方の基板の外形と等しい外形を有する請求項 13 または 14 に記載の接合装置。

【請求項 16】

加圧により他の基板に一方の面が接合される基板の他方の面に接して加圧する加圧面が、当該基板の外形と等しい外形を有する接合装置。